

部局名	医学系学府	機関番号	17102	取組実施担当者(責任者)	金出英夫
本事業の全体像					
<p>(1) 本事業の大学全体としての位置付け(教育研究活動の充実を図るための支援・措置について)</p> <p>九州大学大学院医学系学府は、近年の大学院重点化や「学府・研究院制度」の導入などにより、「研究大学」としての役割は十分に果たしている。しかし、大学院が担うのは研究遂行だけではなく、次世代を担う研究者の養成という教育的役割も大きい。ところが、学部教育内容の急増、卒業臨床研修必修化などにより、学生や研修医は大学院進学に目を向ける余裕をなくしつつある。このままでは、人材育成という目的を果たせぬばかりか、いずれは研究遂行にも支障を来しかねない。</p> <p>現在、九州大学医学部では「生命科学科」の設置を計画し、基礎研究者養成基盤の構築を目指している。一方、平成17年9月5日の中教審答申によれば、医療系大学院には、基礎研究者養成と並行して、研究指向性があり臨床研究遂行能力を修得した医師の養成や、専門医資格取得とも相容れる教育システムが求められている。しかし、今の大学院ではそのような教育体制はとられていない。</p> <p>そこで本事業により、臨床研究専門教育システムの構築を核とする医療系大学院教育改革に着手したい。九州大学には世界的にも貴重な「久山町疫学研究」の歴史があり、他大学に先駆けて臨床研究教育の問題を解決する責務があると自負している。</p>					
<p>(2) これまでの教育研究活動の状況(これまでの改善点と、今後の課題について)</p> <p>平成16年度より中期計画に基づき大学院教育の改善に取り組み、①多様な人材の積極的受け入れ、②生命科学の最先端に関する教育、③厳格な成績評価などの中期目標は着実に達成されている。しかしながら、博士課程での指導は、研究室の業績を上げることに今も偏っており、学生の将来を考え、社会ニーズにあった人材を輩出するための教育課程には必ずしもなっていない。</p> <p>従来大学院教育は主に基礎研究を想定して行われてきたため、臨床研究の分野では、「久山町疫学研究」の伝統にも関わらず、一流の成果や人材を生み出すことは必ずしも容易ではなかった。その対策の一環として、21世紀COEプログラムに伴い、生活習慣病ゲノム疫学研究者の教育拠点形成が計画されている。ただ、そのような各論的教育以前に、まず臨床研究全般にわたる基盤教育が必須である。また、臨床研究を担う医師を多数養成する必要があるが、若手医師にとっては専門医資格の取得も必要なので、医師が社会人のまま大学院を受講できるシステムを作る必要がある。</p> <p>基礎研究者の養成についても、これまでは配属先分野にほとんど任されてきたため、学生が修得できる領域は限られていた。また、学習到達度を把握し評価する方法が必ずしも十分ではなかった。さらに、今日求められている科学者の不正行為への予防策は、これまでは特に存在しなかった。</p> <p>これら諸問題を解決するため、大学院教育の改革が必要である。</p>					
<p>(3) 魅力ある大学院教育への取組・計画(9-(2)を踏まえた大学院教育の実質化(教育の課程の組織的展開の強化)のための具体的な教育取組、発展的展開のための計画、及びこの取組によって改善が期待される点について)</p> <p>生活習慣病ゲノム疫学研究者のさらなる発展を含め、将来の臨床研究を担う優れた研究者を多数養成するため、臨床研究専門教育コースの設置を核とする医療系大学院教育改革に取り組む。要点は次の四つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人医師も受講可能な臨床研究教育システムの構築 臨床研究にとっては、研究テーマ中心の個別指導より系統的なコース教育が適している。そこで、博士課程に「臨床研究専門教育システム」を新設し、適正な臨床研究を実施する能力を大学院の期間に修得させる。また、社会人医師に大学院で学ぶ機会を提供するため、本システムの授業は原則として夜間もしくは休日に設定する。 2. 基礎研究者養成システムの実質化 基礎研究者を育てるには、基本的には個別指導による才能の発掘が適している。ただし、大学院修了後速やかに自立できる研究者を効率よく輩出するため、複数関連分野の連携による教育体制を構築する。 3. 研究倫理を中心とする共通必修科目の設定 研究者の職業倫理など、必ず身につけておくべき教育内容を必修科目として新設する。 4. ポートフォリオ作成による大学院教育評価 指導プロトコルを作成し、これに基づいて教育を計画的に進める。学生には、修得したことや経験したことを纏めた「ポートフォリオ」を作成させ、学習到達度の速やかな把握、様々な角度からの成績評価を可能にする。 					

履修プロセスの概念図 (履修指導及び研究指導のプロセスについて全体像と特徴がわかるように図示してください。)

